

クリティカルシンキング研修 ～客観的思考～

対象者：一般職員～中堅職員

1. 研修の目的

考える力を養い、コミュニケーションや問題解決、判断する場面などで活用できるようにする。

2. 研修の構成

物事を『考える』際に、ロジカルシンキング（論理的思考）なのか、クリティカルシンキング（客観的思考）なのか、本来意識することはありません。基本的な考え方が備わった上であれば良いのですが、備わっていないと以下の事象が発生する可能性があります。

- (1) 偏った主観による論理でモノゴトを考察する
- (2) 結論に説得力がない
- (3) 目的の捉え方を誤る
- (4) 部分的な視点でモノゴトを考察する
- (5) 考えた際にその過程と結論を疑わない

そのため、ロジカルシンキングとクリティカルシンキングのノウハウを学び、モノゴトを正しい方法で最適なレベルまで考えることで、大きな成果を得ることができます。

3. 研修の進め方

- 午前がロジカルシンキング、午後がクリティカルシンキングに焦点を当てて参ります。
- 午前のロジカルシンキング研修では、論理的思考法を座学で学んでいただき、ケーススタディと合わせて取り組んで頂くことで、そのノウハウを習得していただきます。
- 午後のクリティカルシンキング研修では、特定のテーマについてグループワークで議論して頂きます。その際に、論理の誤りや偏った主観的要素などを講師から指摘されることで、思考の過程や結論を疑うことについて、その重要性を肌で感じて頂きます。その後、客観的思考法を座学にて学んでいただき、ケーススタディと合わせて取り組んで頂くことで、そのノウハウを習得していただきます。

3. 研修内容

カリキュラム	
9:00	【ロジカルシンキング研修】 研修の目的と全体像を共有 1. 座学 1) なぜ、考える必要があるのか 2) ロジカルシンキングとクリティカルシンキングの違いとは何か 3) より正しく論理を展開する ① 演繹法 ② 帰納法 4) ケーススタディ ～論理の穴を見つける～
12:00	
13:00	【クリティカルシンキング研修】 1. グループワーク ～テーマ～ 「報・連・相について、漏れる、正しく伝わらないなどの事象が多く発生しています。 どうすれば報連相は機能しますか」 1) グループワークの進め方を説明 2) 全員で意見を洗い出し、付箋に記入 3) 模造紙に意見を貼り、グルーピングする 4) グルーピングされたカテゴリーを見ながら、問題の本質を皆で議論する 5) 問題の本質に対する対策を立案 2. 座学 ～思考プロセスと結論を疑い、客観的視点で相応のレベルまで考える～ 1) ゴール(目的)は何か 2) 全体からみる(横の展開) 3) 深く掘る(縦の展開) 4) 客観的視点に立ち、思考の妥当性を検証する 3. ケーススタディ ケース1:「こどもが公園でけがをした!その原因は何か」 ケース2:「業務の効率化を実施した。しかし成果が上がらない。何故だろう」 4. まとめ
16:30	

閉講